

# 河内小だより

平成23年12月22日 12

## 1年間お世話になりました！よい年をお迎えください！

今年の秋は結構暖かくて、紅葉が遅いとか、紅葉せずに枯れてしまうのではないかとと言われていましたが、河内小学校の大きなイチョウの木は、今年も見事な黄葉（！）を見せてくれました。12月になってから、大量の落ち葉が出て黄色いじゅうたんのようになりましたが、業務の大倉先生や長本教頭先生が中心となって、連日片付けをしてくださいました。子どもたちもよく清掃してくれたと思います。

12月16日（金）には、平年より5日遅い初雪が広島市で観測されました。しかし、広島県でのインフルエンザの流行の始まりは、去年の冬より4週間も早く12月15日（木）に発表されました。広島市立学校でのインフルエンザによる学級・学年閉鎖は、佐伯区ではまだ出ていないものの、西区、安佐南区、東区、中区などの20校近くで措置されています。河内小学校でも、うがい、手洗いなどの予防対策に取り組んでいますので、ご家庭でも十分に気を付けられてください。

さて、「うさぎ年の平成23年・2011年」も、あと10日足らずを残すのみとなりました。皆さんにとって、今年はどうな年だったでしょうか。

毎年12月に、日本漢字能力検定協会の募集したその年を象徴する漢字一字を、京都市清水寺の森清範貫主（かんす）が、「今年の漢字」として大きな和紙に特大の筆で書いて発表されますが、12月12日（月）に書かれた漢字は、「絆（きずな）」でした。3月の東日本大震災や9月の紀伊半島豪雨などの大規模な災害で、家族や仲間との絆の大切さに改めて気付かされたことや、6月から7月にかけてのワールドカップ女子サッカーで優勝した「なでしこジャパン」のチームワークなどがその理由に挙げられるそうです。

異常気象や大規模災害、経済不安、雇用不安、犯罪の凶悪化、揺らぐ安全、政局の混迷など、日本を含めて世界は、先行き不透明で夢や希望を持ちにくくなっていると言われていています。こうした時代だからこそ、家庭も地域も学校も、絆を大切にしながら、コミュニケーションをしっかりと取り合い、連携し合って子どもたちを育てていかなければならないと思います。

この1年、河内小学校教育にご理解とご支援をいただき、どうもありがとうございました。来年も、どうかよろしくお願ひ申しあげます。よい年をお迎えください。



【5年PTC 紙飛行機作り】



【6年 大学教授特別授業】

《お知らせ》 学校支援員の平賀由加先生が、12月22日に勤務を終了されました。